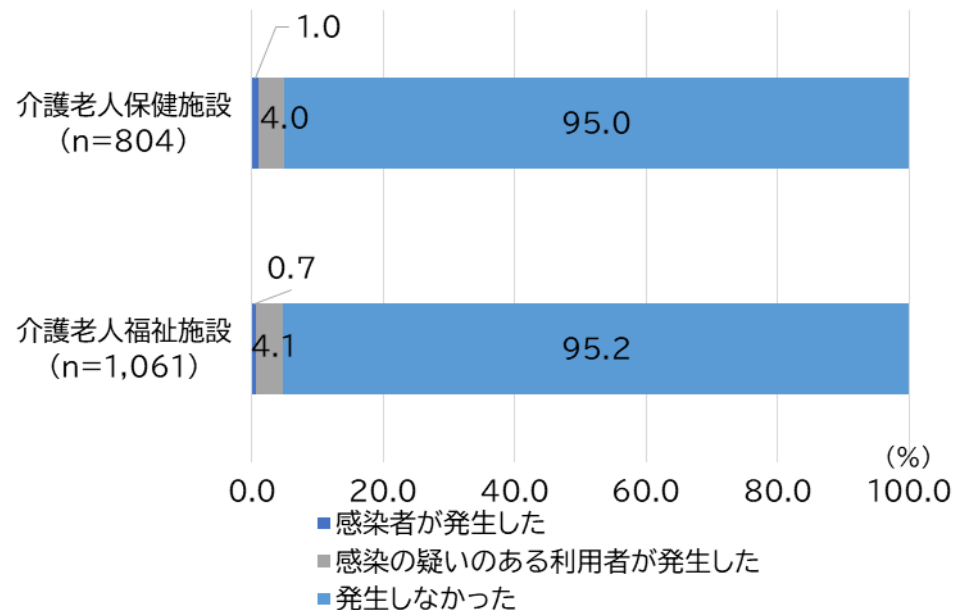


## 1.回答施設のプロフィール

- 設置主体は、介護老人保健施設は医療法人が62.6%、介護老人福祉施設は社会福祉法人が93.8%を占める
- 所在地(都道府県)は、介護老人保健施設:神奈川県(6.0%)、大阪府(5.7%)、東京都(5.3%)、介護老人福祉施設:東京都(6.9%)、神奈川県(5.5%)が多い
- 介護老人保健施設、介護老人福祉施設ともに、新型コロナウイルス感染症が「発生しなかった」が9割以上を占める

図1 新型コロナウイルス感染症の発生状況



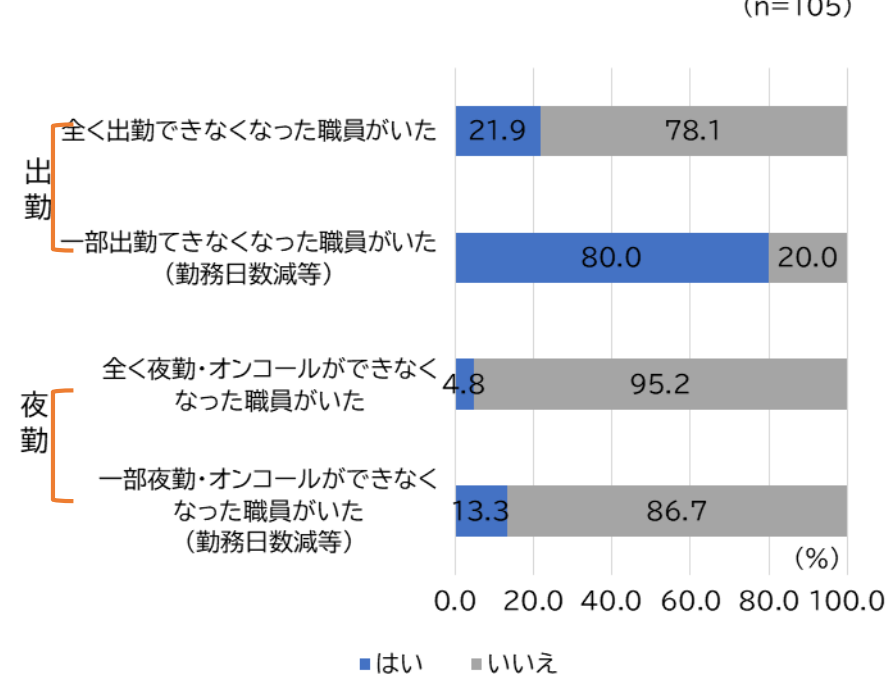
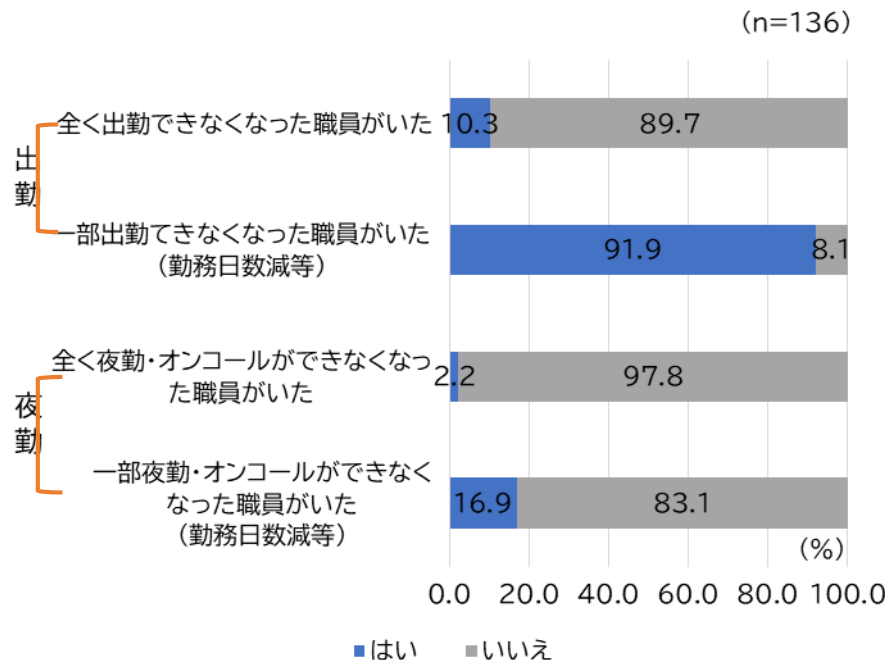
# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 2. 看護職員の出勤状況(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

- 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う看護職員の出勤状況について、介護老人保健施設では16.9%、介護老人福祉施設では9.9%が変化が「あった」と回答した
- 変化が「あった」とした施設のうち、介護老人保健施設では、91.9%、介護老人福祉施設では80.0%が、「一部出勤できなくなった 職員がいた(勤務日数減等)」と回答した

図2-1 看護職員の出勤状況(介護老人保健施設)  
(出勤状況に変化が「あった」と回答した136施設の場合)

図2-2 看護職員の出勤状況(介護老人福祉施設)  
(出勤状況に変化が「あった」と回答した105施設の場合)

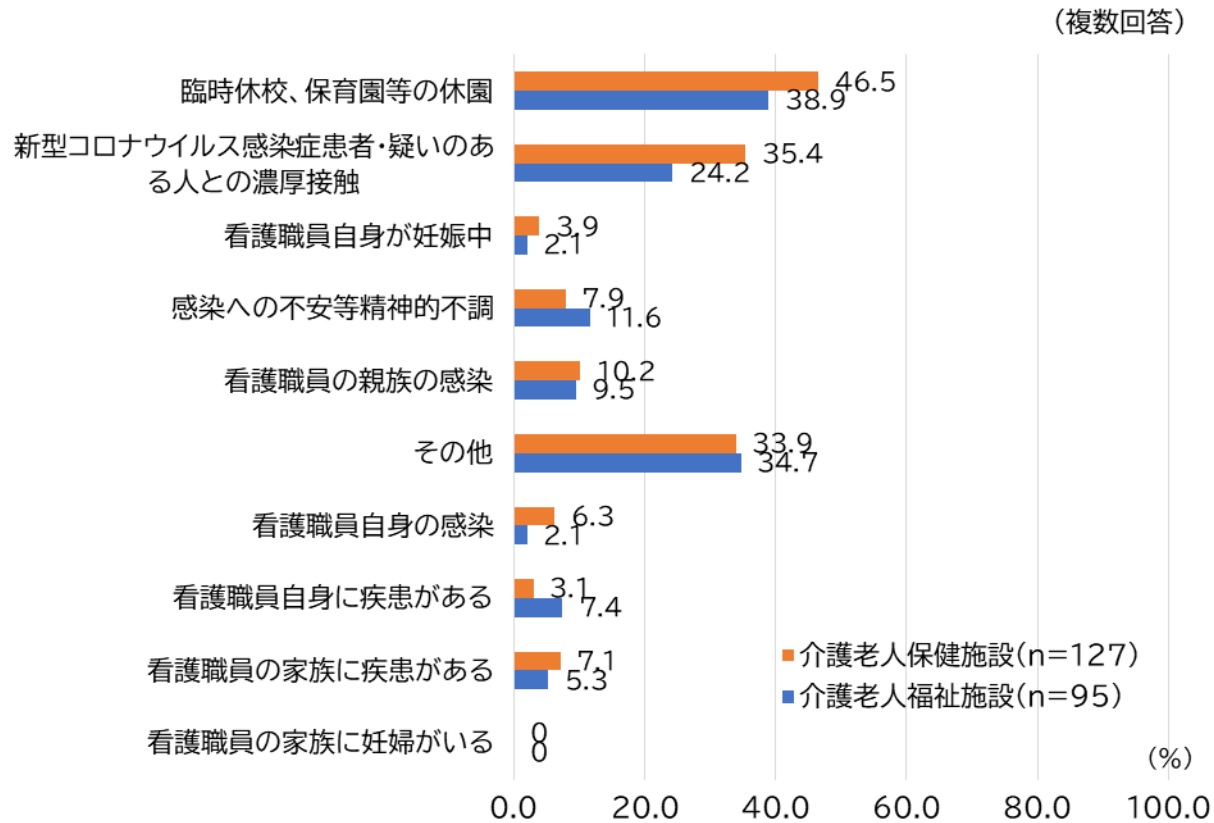


# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 2. 看護職員の出勤状況(続き)(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

○出勤できなくなった理由としては「臨時休校、保育園等の休園」が最も多い

図3 出勤できなくなった理由  
(全くまたは一部「出勤できなくなった職員がいた」と回答した施設の場合)



## 集計結果概要

### 3. 看護職員の不足感(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

- 看護職員の不足感について、介護老人保健施設、介護老人福祉施設ともに「なかった」が5割以上を占める
- 看護職員が不足した場合の対応として、介護老人保健施設、介護老人福祉施設ともに、「配置転換」、「法人内や近隣の事業所からの応援」が上位2位を占める

図4 看護職員の不足感

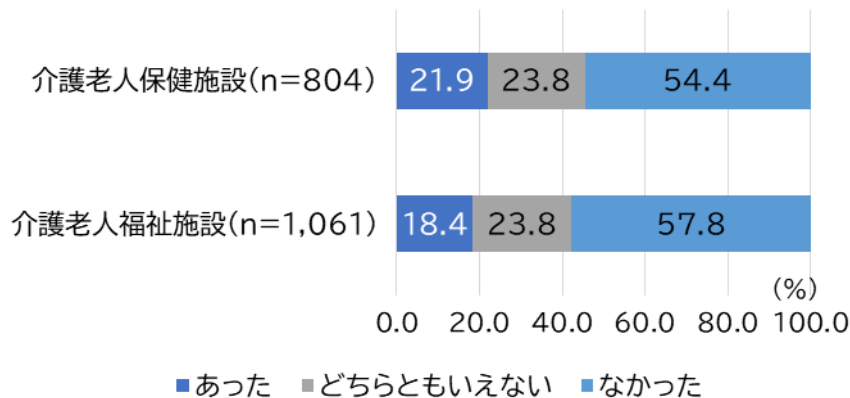
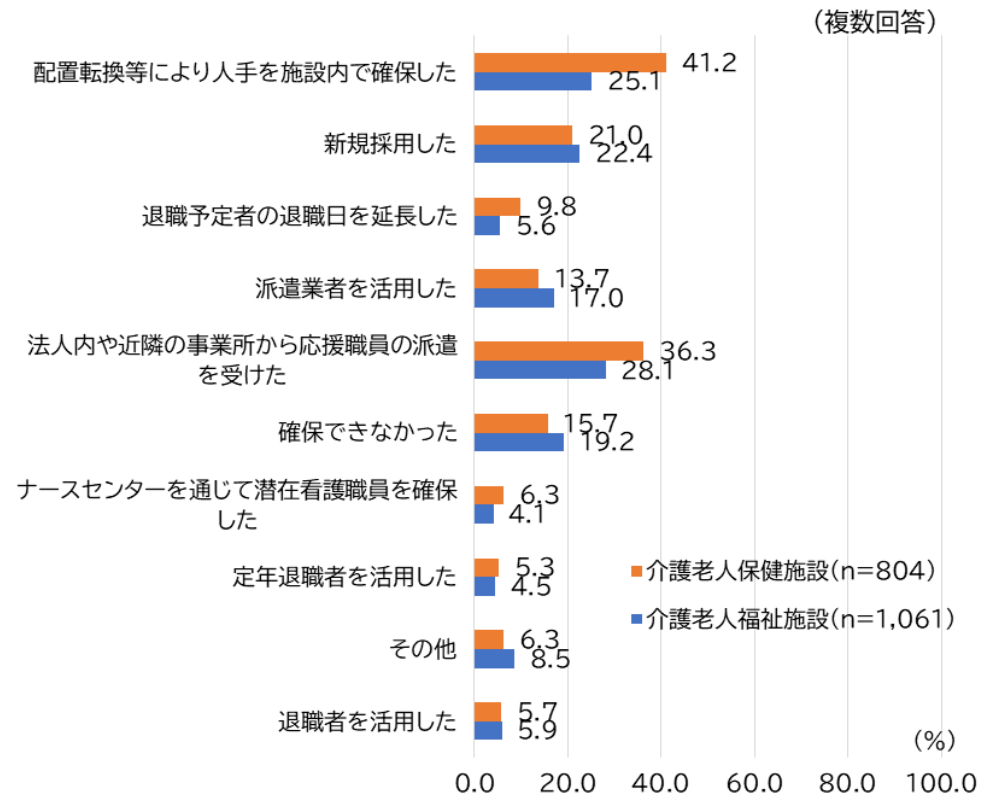


図5 看護職員が不足した場合の確保策



※図4で「どちらともいえない」「なかった」と回答した場合は、不足した場合を想定した回答である

# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 4. 看護職員の労働環境(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

○看護職員の労働環境について、①超過勤務時間、②有給休暇、③夜勤・オンコール回数・時間の増減、④夜勤・オンコール回数・時間の偏り、⑤勤務中の仮眠・休息、⑥施設への相談電話対応、⑦利用者トラブル対応件数 の7点から変化を質問した

○⑥施設への相談電話対応 以外は「変わらない」が約8～9割を占める傾向にある

○7点のうち、看護職員の労働に負荷がかかったという回答が多かったのは、⑥施設への相談電話対応、⑦利用者トラブル対応件数 である

図6-1 労働環境の変化・⑥施設への相談電話対応

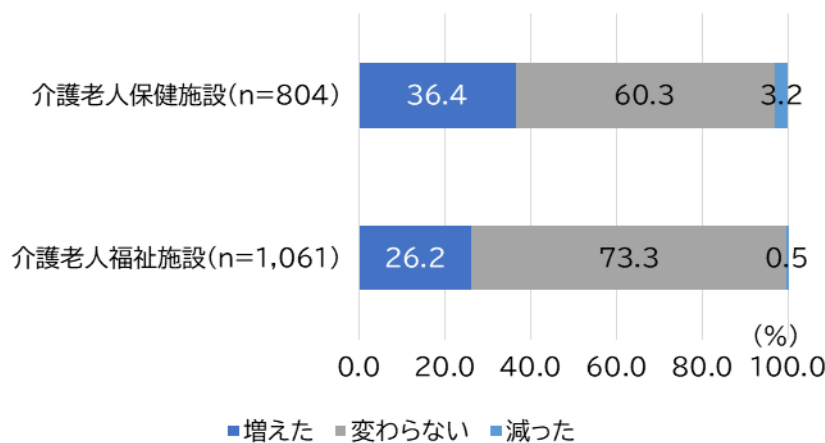
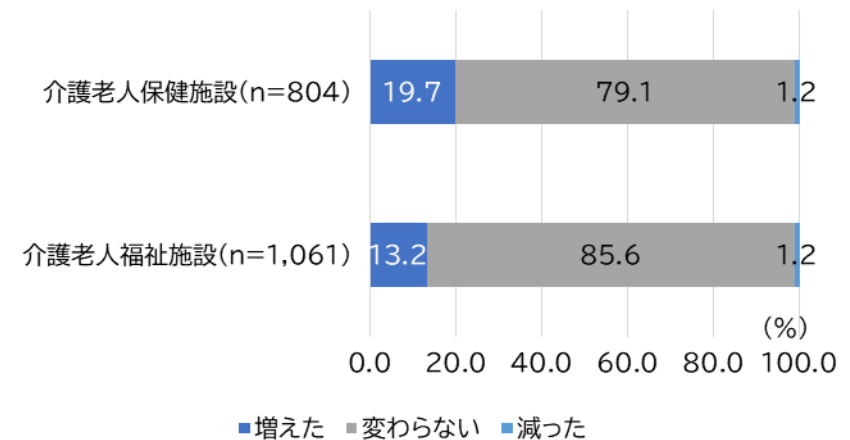


図6-2 労働環境の変化・⑦利用者トラブル対応件数

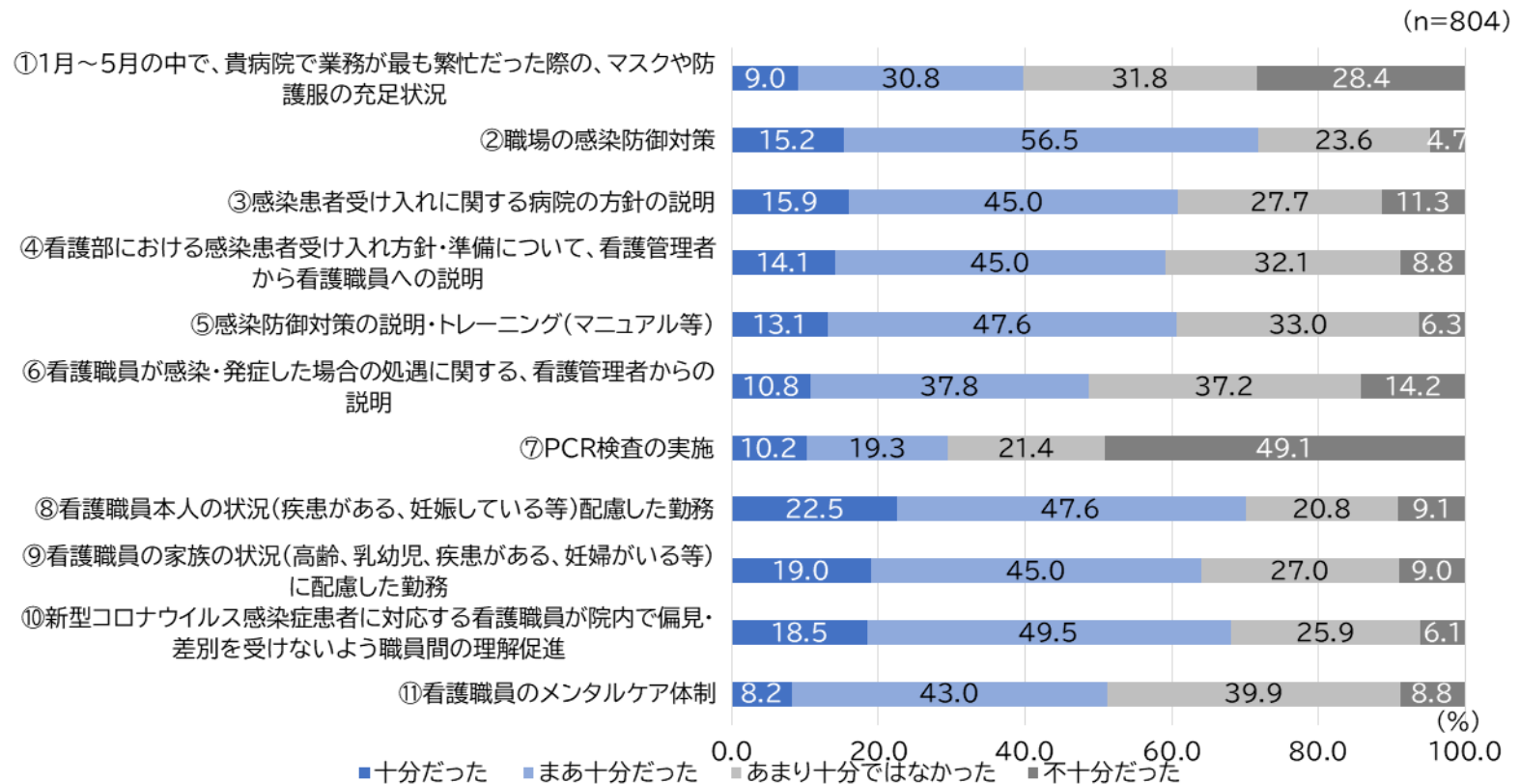


# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 5. 看護職員の健康・安全・安心を守る体制(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

- 介護老人保健施設では、⑧看護職員本人の状況に配慮した勤務をはじめ、①⑥⑦以外は「十分だった」「まあ十分だった」の計が5割を超え、看護職員の健康・安全・安心を守るための努力が伺える
- 特に①⑦は「あまり十分ではなかった」「不十分だった」が各6割、7割を超えている

図7 看護職員の健康・安全・安心を守る体制(介護老人保健施設)



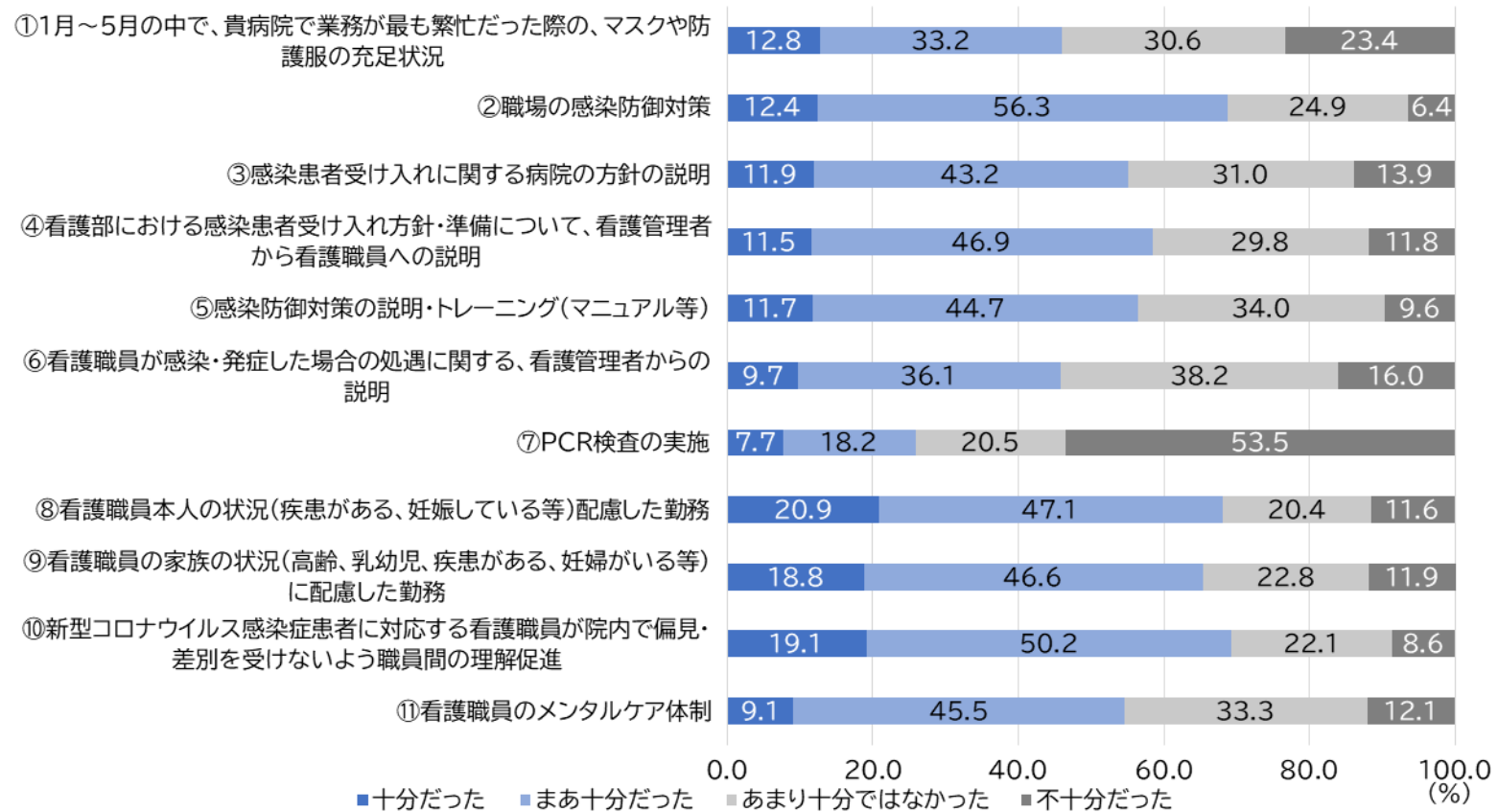
# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 5. 看護職員の健康・安全・安心を守る体制(続き)(1月頃～緊急事態宣言解除・5月まで)

- 介護老人福祉施設では、⑧看護職員本人の状況に配慮した勤務をはじめ、①⑥⑦以外は「十分だった」「まあ十分だった」の計が5割を超え、看護職員の健康・安全・安心を守るための努力が伺える
- 特に⑦は「あまり十分ではなかった」「不十分だった」が7割を超えている

図8 看護職員の健康・安全・安心を守る体制(介護老人福祉施設)

(n=1,061)

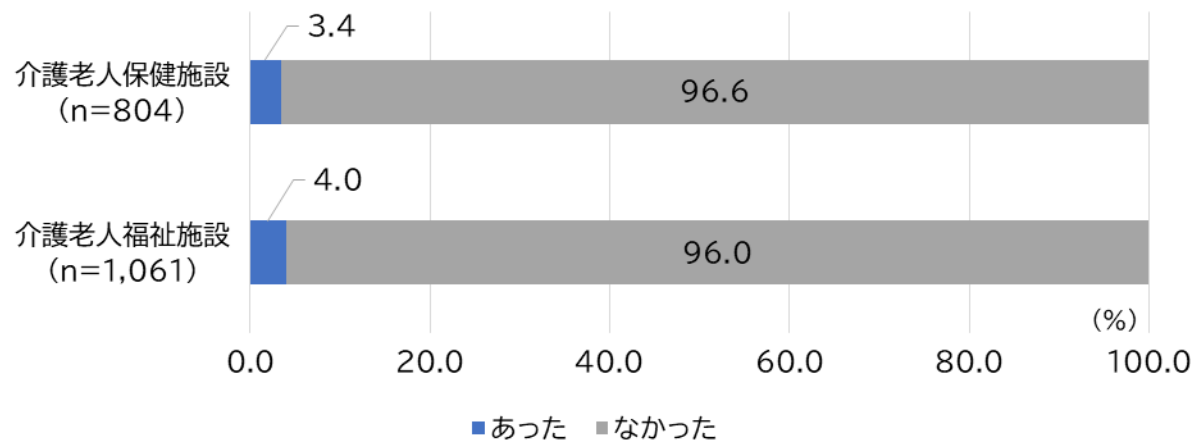




## 6. 新型コロナウイルス感染症対応を理由とした離職の状況

○コロナ対応をきっかけとした離職について、介護老人保健施設、介護老人福祉施設とも「なかった」が9割以上を占めた

図9 新型コロナウイルス感染症対応を理由とした看護職員の離職の有無

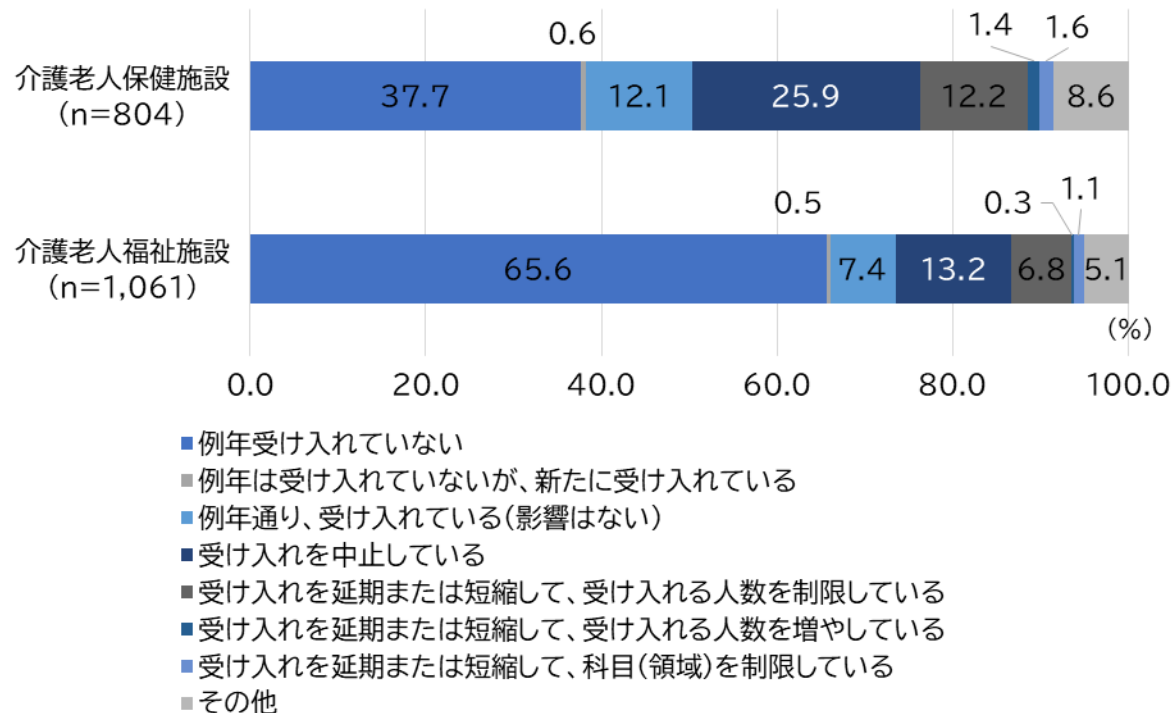




## 7.看護学生の臨地実習の受け入れ

○介護老人保健施設、介護老人福祉施設ともに「例年受け入れていない」が最も多い

図10 看護学生の臨地実習の受け入れ



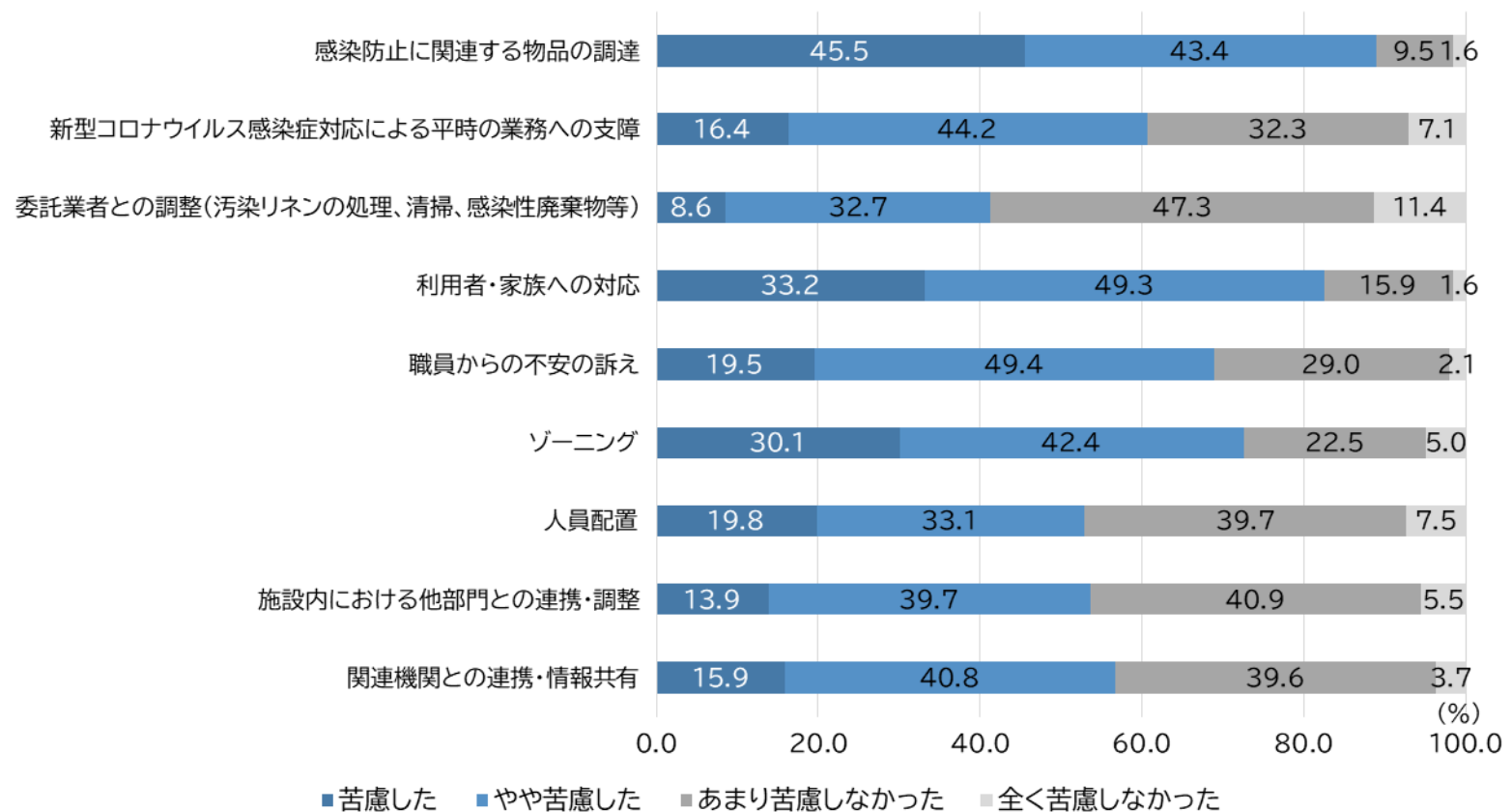
# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 8.看護管理者として苦慮したこと

- 「委託業者との調整(汚染理念の処理、清掃、感染性廃棄物等)」以外の全ての項目において、「苦慮した」「やや苦慮した」の合計が半数を超え、看護管理者の負担の大きさが伺える
- 特に、「苦慮した」割合が多いのは、「感染防止に関連する物品の調達」「利用者・家族への対応」「ゾーニング」であった

図11-1 看護管理者として苦慮したこと(介護老人保健施設)

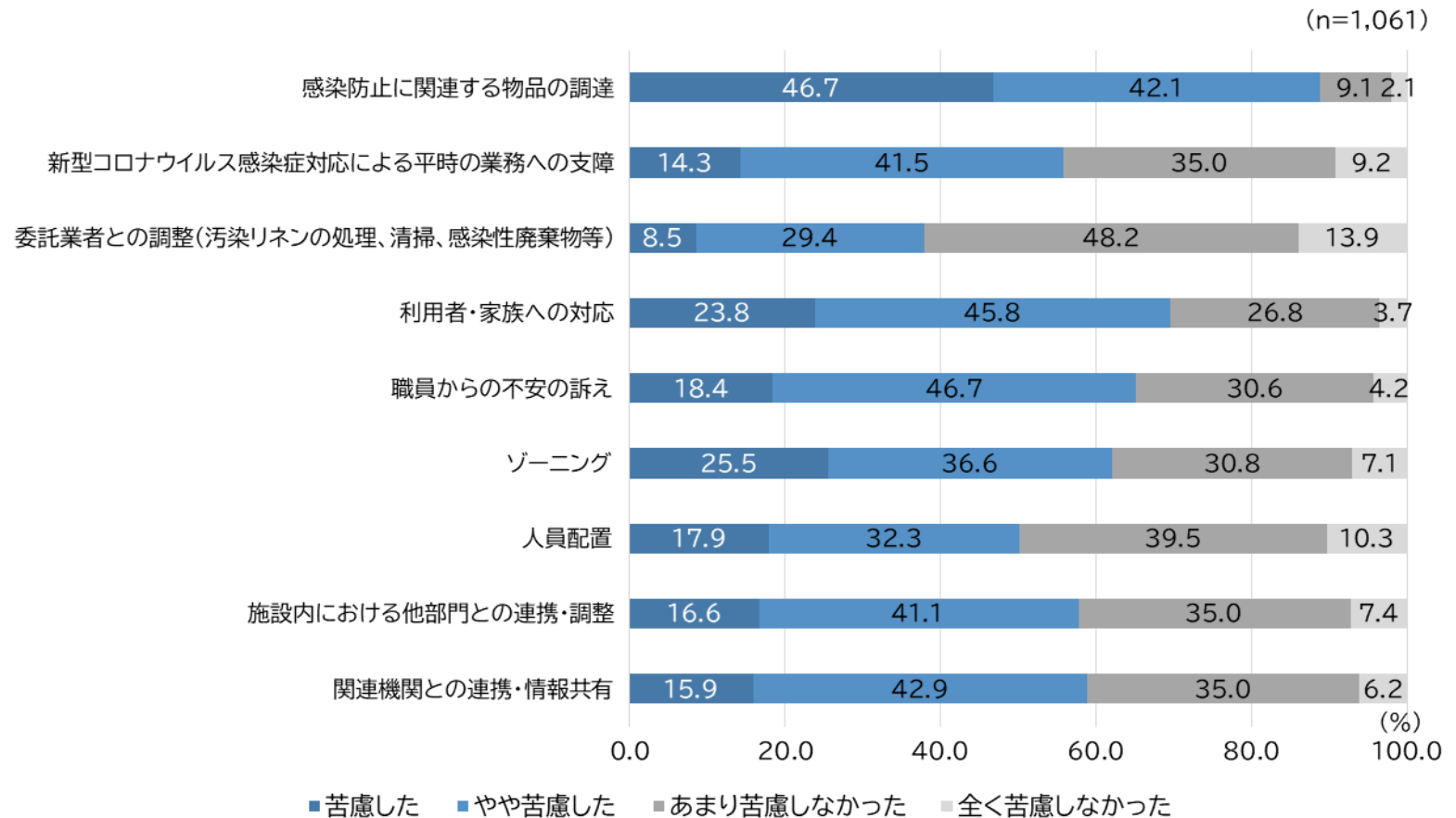
(n=804)



# 看護職員の新型コロナウイルス感染症対応に関する実態調査【看護管理者・介護保険施設】 集計結果概要

## 8.看護管理者として苦慮したこと(続き)

図11-2 看護管理者として苦慮したこと(介護老人福祉施設)



## 9. 看護職員に対するPCR検査の実施予定

- 今後、看護職員にPCR検査を行う予定について、「ない」が介護老人保健施設では68.9%、介護老人福祉施設では72.7%を占めた
- 予定がない理由として、「検査の必要性を感じない」が45.6%を占めた

図12-1 看護職員にPCR検査を行う  
予定の有無

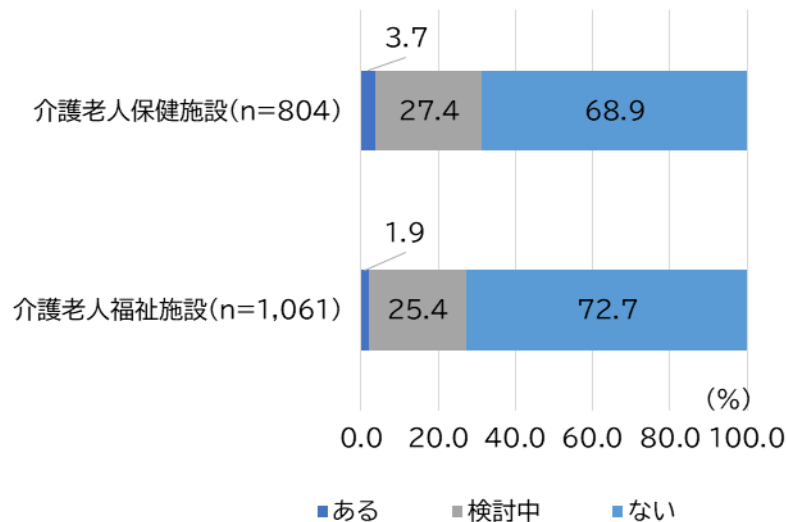


図12-2 予定がない理由  
(PCR検査を行う予定は「ない」と回答した施設の場合)

